

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

年頭のご挨拶を 申し上げます



津房地区まちづくり協議会
会長 菅原 維範



各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

ことしは各地で新型コロナウイルスが蔓延という異常事態でスタートしましたが、今のところ当地区民が感染との情報は無く、これは地区民揃って新しい生活様式を守っている成果に違いありません。3月からは順次ワクチン接種も始まるようで、大変な不便さとストレスを伴う生活様式からは今しばらくの辛抱で解放されると思われ、引き続き一致団結して臨んで参りましょう。

さて、昨年の当協議会の活動は、コロナ禍に対処するために行政から示された活動指針の遵守を優先したこと、期初に策定した計画事項の多くで未着手という不本意な状況で、特に、高齢者を元気づける事業や地区のあんしん生活の向上に繋げる殆どの事業において成果無しとなっています。ただ、このコロナ禍もことし中盤には収束に向かうと思われ、日常生活の制限が解除され次第、より活発な活動を通じてこれまでの遅れの挽回を図って参りますので、ご理解とご協力を宜しく願います。

なお、ことしの新事業として、地区民の高齢化と核家族化の進展に伴って通院や買い物のための交通手段でたいへん苦労されている人が多い実態より、既存のコミュニティバスの運行に替わる利便性の高い交通手段の導入に向けた宇佐市との協働のパイロット事業に取り組むことにしました。

最後に、各位にはご自愛のうえ健やかで穏やかな一年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。
令和三年一月

毛無尾共有林の現地確認・参加者募集!

旧津房村の共有林であった毛無尾共有林は、津房植林組合による維持管理を経て、平成26年から当まちづくり協議会の管理に移管しています。

移管後は区長さん有志による年1回のつる切り作業を兼ねた現地確認を行ってきましたが、今年度の現地確認には区長有志のほかに一般の地区民有志にも加わっていただき、共有林の場所や現況を出来るだけ多くの方々に知って頂こうと、参加希望者を募ります。

先輩方が残してくれた地区の資源を目で確認いただくとともに、日頃の運動不足や森林浴も兼ね、大勢のご参加をお待ちします。

実施要領

【日時・場所】 令和3年2月7日(日)

午後1時に津房地区公民館・駐車場に集合(帰着は4時ごろ)
事前の予約などは不要です

【現地への移手段】

現地近く(萱籠集落)までは各自の車で(公民館での相乗り調整も適宜入れる予定)、そこから先の共有林近くまでは軽トラに分乗していただきます。

その先から徒歩で共有林内(樹種、樹齢ごと)を巡ります。

【留意点】

必要な携帯品は特にありませんが、かなり急坂の山の中を巡るのにふさわしい服装でお出てください。

地区の中心地を華やかにしてコロナ禍で溜まったみんなのストレスを少しでも癒せればと、去る12月23日、六郎丸・信号機交差点から板場方面に向かう角地の(休耕地)約200mに葉ボタン、ポピー、キンセンカ、パンジーなど、冬から春にかけて咲く5種類の花、約一、四〇〇本を植栽しました。

五郎丸、六郎丸、楢本、松本の各集落から参加頂いた女性グループと、地域おこし協力隊、当協議会役員から成る総勢14名で植栽と灌水作業を行い、きれいに仕上げました。

まだ活着したばかりですが、早くも交差点を行き交う方々から「見事じゃ!」との好評を得ており、満開となる春には見ごたえのある花壇となり、皆さんを癒してくれる筈です。

役割分担して作業中⇒



津房花いっぱい運動

* 花木、花苗の頒布希望を募ります *

「津房郷を季節の花で飾ろう!」と、ことしも「花いっぱい運動」を展開します。

昨年と樹種を少し変えましたが、「桜」などの花木苗と「サルビア」等の夏花苗を無料頒布します。

各区長さんへ集落単位での希望数の取り纏めをお願いしていますので
ご希望者は 2月8日 までに樹種と本数を区長さんへ連絡願います。

- 【花木】 桜(ソメイ吉野)、芙蓉(フヨウ)、辛夷(コブシ)、ハナミズキ、さつき(ツツジ)、大手毬(オオデマリ)
- 【花苗】 マリーゴールド、サルビア、シバザクラ

ご注意点

1. 植栽場所は共有、私有を問いませんが、公道に面し、一般通行者の目に触れる場所限定です。
2. 希望総数が多くて予算枠を越える場合、地区全体でのバランスを取り、頒布本数の調整をさせていただきます。

当協議会向けふるさと納税のおしらせ

ふるさと納税制度を利用し、当協議会をご指定のうえ寄せていただく「ふるさと納税」ですが、市より令和2年度分の集計(途中)結果が連絡ありました。

前年度全期で570,000円に対し、コロナ禍で大変な状況下にも拘わらず **現時点で520,000円**と、ほぼ前年度並みのペースでご寄付を頂いています。

ご寄付のお知らせ

大坪 一郎さん(六郎丸)より
「ご尊父 大坪 欣一様のご逝去に際しての香典返しの際として多額なるご寄付を頂戴いたしました。当協議会の実践活動費として活用し、ご意向にお応えして参ります。」

